

はるかな尾瀬

— 目 次 —

- 02 特集① 尾瀬フェア@OutdoorVillage活動報告
- 04 特集② 尾瀬自然解説ガイド
- 06 特集③ 登山道開拓の歴史 ～会津・沼田街道～
- 07 現地情報 原をわたる風だより
- 08 おこじょだより
- 09 尾瀬ボランティア情報
- 10 尾瀬保護財団からのお知らせ



2024.7 vol.55
(公財)尾瀬保護財団



白澤 滋民 「ニッコウキスゲの咲く尾瀬ヶ原」

特集① 尾瀬フェア@Outdoor Village 活動報告

2024年6月22日(土)から23日(日)の2日間にわたり、東京都昭島市に所在するアウトドア製品の店舗が集う商業施設「モリパーク アウトドアヴィレッジ」にて、尾瀬の魅力を伝えるためのイベント「尾瀬フェア@Outdoor Village」を開催しましたので、その状況を紹介します。

来場者数と天候

2日間で約2,400名の方にご来場いただきました。1日目は天候に恵まれ屋外の「芝生の広場」



での開催となり、気持ちの良い青空の下、各種体験や展示を楽しんでいただきました。2日目はあいにくの雨天でしたが、屋内広場での開催に切り替えたことで、引き続き多くの方々に楽しんでいただくことができました。

大好評だった体験型ブース

今回のイベントでは、体験型ブースの数々が好評でした。

尾瀬歩荷体験



尾瀬歩荷さんの「背負子」を背負って木道セットで記念写真を撮影することで、歩荷さんに出会える尾瀬の魅力を感じていただけました。

VRゴーグル尾瀬体験



リアルな尾瀬の景色を楽しむVRゴーグルは、多くの参加者にとって驚きのバーチャル体験となりました。

スタンプラリー

全ブースでスタンプを集め尾瀬缶バッジがもらえるスタンプラリーは、お子様から大人まで楽しんでいただけました。

SNS登録者対象の福引き

尾瀬山小屋組合から提供いただいた尾瀬山小屋宿泊の割引券など素敵な賞品が当たる福引きにより、200名以上の方に尾瀬保護財団Instagramの新規フォロワーになっていただきました。

各種工作（バードコール作り、鹿革キーホルダー作り、尾瀬の花カード作り）



工作体験をしながら尾瀬の自然・環境について学んでいただきました。

尾瀬高等学校の学習成果紹介



尾瀬高等学校の生徒による学習成果発表は、多くの来場者の関心を引きました。

尾瀬コンシェルジュ(尾瀬散策相談コーナー)

尾瀬ハイキングに関わるあらゆる相談について尾瀬ボランティア、尾瀬ガイド協会の方が回答し、実際のハイキング計画の参考にさせていただくとともに、不安解消につなげていただきました。(写真はP9に掲載)

尾瀬関連情報・周辺観光情報



尾瀬の魅力だけでなく周辺の観光情報、地域全体の魅力をアピールしました。

来場者アンケートと尾瀬ボランティアの声

イベント終了後に実施した来場者アンケートでは、75%の方が「大変満足」、25%の方が「満足」と回答し、多くの方々に楽しんでいただけたことがわかりました。また、尾瀬コンシェルジュをお手伝いいただいた尾瀬ボランティアからは「尾瀬を好きになる人が増える楽しいイベントだった」「新宿からのアクセスやコースの組み方、子どもが行ける場所か否か、クマと会った時の対処法など様々な質問を来場者からいただいた」「尾瀬に行ってみたくてと言ってもらえた」という声が寄せられました。

結び

今回、尾瀬に関わる様々な企業・団体・ボランティアの皆様と協働して、多くの方々に尾瀬の魅力を紹介するとともに、尾瀬への関心を高めることができたという確かな手応えがありました。ご来場いただいた皆様、そしてご協力いただいた出展者の皆様、ボランティアの皆様により感謝申し上げます。今後も、尾瀬の魅力を広く伝えるための活動を続けてまいります。

出展者一覧(五十音順)

- ・魚沼市 & 魚沼市観光協会 ・尾瀬高等学校
- ・OZE BOARDWALK project with おぜしかプロジェクト
- ・尾瀬歩荷(萩原雅人さん) ・尾瀬保護財団
- ・片品村 & 片品村観光協会 ・群馬県
- ・東京電力グループ(東京電力リニューアブルパワー(株)、東京電力パワーグリッド(株)、東京パワーテクノロジー(株))
- ・檜枝岐村 ・福島県 ・南会津町観光物産協会



協力者(五十音順)

- ・尾瀬ガイド協会 ・尾瀬ボランティア ・尾瀬山小屋組合

特集② 尾瀬自然解説ガイド

尾瀬自然解説ガイドの充実に向けて

尾瀬の自然を守るために様々な活動を行っている尾瀬ボランティアの方々の豊富な知識や経験を活かし、各種研修を経て「尾瀬自然解説ガイド」として認定された「尾瀬自然解説ガイド」。尾瀬を訪れる多くのみなさまに、ビジターセンターを基点とした短いコースのガイドを実施し、尾瀬の豊かな自然やその保護に向けた取組を紹介しながら、貴重な自然により深く触れていただくお手伝いをします。

コロナ禍の影響により、一昨年末までは休止していましたが、昨年より再開しました。昨年度、自然解説ガイドの登録者を新たに養成し、今年度はガイド実施日も拡充し、財団としても多くの方から尾瀬を気軽に楽しんでいただけるよう力を入れています。

今後多くの方に尾瀬自然解説ガイドとして登録いただき、尾瀬の魅力をさらに発信していきます。



▲山の鼻ビジターセンター～牛首コース。8月末頃、青々とした山と湿原が美しい、夏のガイドの様子です。動植物だけでなく、湿原の特徴、自然保護の取り組みや歴史・文化などについても解説いたします。

ガイド実施にあたって

山の鼻ビジターセンター発着の4コースおよび尾瀬沼ビジターセンター発着の2コースをご案内いたします。

ガイドを初めて利用する方、尾瀬を初めて訪れる方にも安全に尾瀬歩きを楽しんでいただくという観点から、実施期間を6月上旬から10月上旬の間で設定しています。

ボランティアによるガイドを実施していることもあり、お客様のニーズをもとに、事務局でガイドをマッチングし、より安心安全に尾瀬を楽しんでいただくよう配慮しています。

今シーズンは多くのお客様からお申し込みを受けて実施しています。

令和6年度 尾瀬自然解説ガイド事業の実施日

2024年6月							2024年7月									
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
						1	1	2	3	4	5	6				
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13			
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20			
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27			
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31						
						30										

2024年8月							2024年9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30					

2024年10月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

○ 全コース実施日
□ 山1～3のみ実施
■ 山1～4のみ実施

コースと料金

尾瀬ヶ原エリア

コース名	コース内容	片道料金 (1人あたり)	往復料金 (1人あたり)
山1	山ノ鼻～牛首分岐 (片道約1時間30分)	1,000円	1,500円
山2	山ノ鼻～牛首分岐～電宮 (約2時間)	1,500円	設定なし
山3	山ノ鼻～牛首分岐～ヨッピー吊橋 (約2時間)	1,500円	設定なし
山4	山ノ鼻～牛首分岐～ヨッピー吊橋～電宮～牛首分岐～山ノ鼻 (周回)(約4時間30分)	設定なし	2,000円

尾瀬沼エリア

コース名	コース内容	片道料金 (1人あたり)	往復料金 (1人あたり)
沼1	尾瀬沼ビジターセンター～大江湿原 (往復) (約1時間)	設定なし	1,500円
沼2	尾瀬沼ビジターセンター～尾瀬沼北岸～沼尻 (片道約1時間30分)	1,000円	設定なし

・料金は1人あたりの料金です。旅行傷害保険を含みます。
・各コースとも1グループの定員は8名以内。9名を超える場合は複数のグループに分かれて実施します。

申込み方法

◆事前予約制です。所定の申込フォームへ入力(※)または、FAX・メール・郵送のいずれかでお申し込みください。

(※)尾瀬保護財団ホームページからアクセスまたはダウンロードすることができます。

◆お申し込みはガイド希望日の10日前までをお願いします。なお、手配の都合上ガイドをお受けできない場合もあります。予めご了承ください。

申込先・お問い合わせ先

(公財) 尾瀬保護財団

TEL: 0271-2200-4431

FAX: 0271-2200-4421

E-mail: info@oze-fnd.or.jp

尾瀬自然解説ガイドを体験して

(新潟県I・Aさん)

今まで何度か尾瀬を訪れていましたが、尾瀬保護財団の自然解説ガイドというものを知り、今回初めて利用しました。

ガイドさんを頼むということは、私にとって少しハードルが高いと思っていたのですが、当日は本当に楽しく、あっという間に時間が過ぎ、勉強になることがたくさんありました。

特に印象に残ったのは、尾瀬ヶ原には約千八百以上の池塘があり、それぞれの水質が違って、酸性が強い水質ではヒツジグサなどの水草などが育ちにくいこと。池塘にある浮島にも完全に浮いているものもあれば、下と繋がっているものがあることなど。

自然のこと以外にも、景鶴山周辺は、その地権を巡って越後と会津がその判断を幕府に委ねたことや、「這いずる」↓「へえずる」↓「けいずる」↓「景鶴」となった説など、歴史や文化も含めて多岐に渡って興味深いお話しをお聞きすることができました。

今回は山の鼻から竜宮小屋までのガイドでしたが、機会があれば別のコースもお願いしたいと思いました。

ガイドさんからは、とてもフレンドリーに名前を呼んで下さったり、優しいお話し口調にガイドさんの人柄のあたたかさを感じました。

これからも自然解説ガイドの皆さんが、尾瀬の魅力を発信して下さることをとても期待しています。ぜひまた利用させてください。



尾瀬自然解説ガイドになるには

現在14の方が尾瀬自然解説ガイドとして登録され、活動しています。

尾瀬自然解説ガイドとして登録されるには、現在、当財団の尾瀬ボランティアとして登録・活動されている方で、当財団が指定する応募要件を満たすことで応募することができます。

応募後は通信研修、養成研修（講義・実地）を受講し、一定水準を満たす方から、当財団における認定後、活動することができます。

登録を目指される方、関心がある方は、担当までお問い合わせください。

尾瀬自然解説ガイド担当

尾瀬保護財団 企画課 三津輪まで
TEL : 027-220-4431
FAX : 027-220-4421
E-mail : info@oze-fnd.or.jp



特集③ 登山道開拓の歴史（会津・沼田街道）

企画課 宇野翔太郎

私たちが尾瀬を楽しむ上で欠かせない「登山道」、尾瀬の道はいづ頃誰が開拓したのでしょうか。本特集では、尾瀬の登山道開拓の歴史について、書籍から確認できた情報をご紹介します。

第1回目は、尾瀬で最も古い道である「会津・沼田街道」をご紹介します。なお、本特集は不定期での掲載となります。

1. 尾瀬で最も古い道「会津・沼田街道」

会津・沼田街道とは、会津（会津若松市）と上州（沼田市）を結ぶ街道のことです。福島側では「沼田街道」、群馬側では「会津街道」と呼ばれていました。尾瀬国立公園内では大清水〜一ノ瀬間の旧道を通り、三平峠・尾瀬沼・大江湿原・沼山峠〜七入間のことを指します。



街道の途中（早稲の砂風）からの風景

その歴史は古く、会津郡長江庄 桜枝岐村耕古録（星知次、1972）では、「この沼田街道は、峻峭な山道ではあったが、古来より会津と上州をつなぐ重要な通路であり、物資は会津よりの米、酒などが主で、すでに元禄年間以前より、駄馬にて運搬され一日に数駄の物資が動いている。其の為尾瀬沼の辺に、交易小屋が有り又片品村越本にも、このための問屋まで有ったと言つことである。又人々の往来も相当あり、戦国時代末期あたりにも、会津藩主と関連していろいろな人が通っているようにある。」とあります。また、歴史

の道調査報告書「沼田・会津街道」（群馬県教育委員会、1980）では、「街道として整備されたのは、沼田城主真田信幸の時代である。慶長五（一六〇〇）年関ヶ原の戦いの時、沼田城は関東方徳川家康に従ったので、大阪方の会津上杉氏に備え、尾瀬の入口戸倉に關所が設けられた。（中略）戸倉から尾瀬までの街道は山道で人家もなく、草木が茂り、交通にさわるので三年に一度普請が村人によって行われ、街道沿いの村々の大きな負担となっていた。」とあり、古くから人や物が行き来する重要な街道であったことが伺えます。

また、交易小屋については、山と溪谷133（山と溪谷社、1950）の關係者の対談の中で、富士見小屋初代・萩原武治氏「三平の荷小屋と云つて、峠の下の今の長蔵小屋の開墾地にあった。」、対して長蔵小屋二代目・平野長英氏が「畑をおこしていたら當時の瀬戸のかげらなどが出た。」と補足している。その他、戊辰戦争の際に会津軍が通った歴史などもあり、尾瀬の歴史を語る上で欠かせない道でもあります。

2. 尾瀬は「会津・沼田街道」から広まった

日本の植物学者「武田久吉」は、1905（明治38）年に尾瀬を訪れ、日本山岳会「山岳」の創刊号に「尾瀬紀行」と題した紀行文を掲載し、尾瀬の素晴らしさを世に広めています。また、美術雑誌「みずゑ」創刊者の「大下藤次郎」は1908（明治41）年に尾瀬を訪れ、「みずゑ（臨時増刊尾瀬沼）」で尾瀬の美しさを初めて「視覚的」に世に広めたと言われています。こうした多くの学者、山岳家、画家などが当時メインルートであった会津・沼田街道から尾瀬を訪れ、その時の様子を紀行文や論文などで紹介しています。

1963（昭和38）年に戸倉・鳩待峠間の車道が開通して以降、鳩待峠から入山される方が多くなっていますが、尾瀬の歴史はこの「会津・沼田街道」から始まったのです。

福島県と群馬県を結ぶいにしへの道「会津・沼田街道」、ぜひこつした歴史を心に留めながら歩いてみてはいかがでしょうか。

原をわたる風だより



山の鼻ビジターセンター勤務5年目となりました西澤です。毎年、道路開通前に準備で尾瀬に入りますが、その年によって景色がいつも違います。今年は昨年同様積雪の少ない年で、4月には解けた雪の間からミスバショウ



やワタスゲが咲き出しました。この時期に咲く花は霜の影響を受けやすく、ミスバショウは白い仏炎苞が茶色くなったりワタスゲは受粉できずに白い綿毛をつけられなくなったりなど、お花を楽しみに来られる方には残念な姿に映ることもあります。俯瞰して考えると地球規模の温暖化の影響を懸念せずにはいられません。私たちの周りの小さなこと、ひとつずつ気をつけなければならぬと改めて思いました。今年はワタスゲの花がたくさん咲いていましたので、果穂の時期がとも楽しみます。

山の鼻ビジターセンターに務め、早4年目となりました。今年は5月14日にビジターセンターの開所式を行い、登山者

と尾瀬に関わる皆様の安全を祈念いたしました。開所した週末では、ミスバショウを見るためにたくさんのお客さんが訪れました。今年も積雪が少なくミスバショウの開花が早まりましたが、我がビジターセンターの職員が作成しているブログの情報を参考に、開花に合わせて訪れてくださる方も多く、たいへん嬉しく思います。今年もブログで旬な話題を発信していきます。

(新保 正利)

管理員として3年目の勤務となりました。一昨年はたつぷり雪が残っていましたが、今年も昨年同様に雪のない山の鼻ビジターセンター開所式となりました。雪解けが早くミスバショウの花が心配になりましたが、今年は山ノ鼻周辺でたくさんのお客さんが顔を覚えてくれました。今年も訪れた皆様にとつて、尾瀬での体験が思い出に残るよう精一杯努めていきたいと思っております。

(渡辺 直子)



ビジターセンター勤務2年目です。尾瀬の山々や空気、水、そして植物や動物

(特に鳥)が好きです。朝や夕方、気の向くままに散歩するのは本当に気持ちが良い、尾瀬で暮らせて幸せです。ビジターセンターにいると、尾瀬が多くの人々に愛され守られていることを日々感じます。私も尾瀬に関わる一人として皆様のお役に立てるようになりたいです。尾瀬ヶ原にお越しの際は、お気軽にお声がけください。(天津 祐子)



昨年に引き続き尾瀬山の鼻ビジターセンター管理員を務めさせていただきます川畑と申します。尾瀬の美しい自然の中で、尾瀬に関わる皆様と共に活動出来る事は、私にとつてかけがえのない経験です。毎日違った表情を見せてくれる尾瀬の魅力をお客様にお届け出来るよう一杯頑張ります。今年もどうぞよろしくお願いたします。(川畑 修)

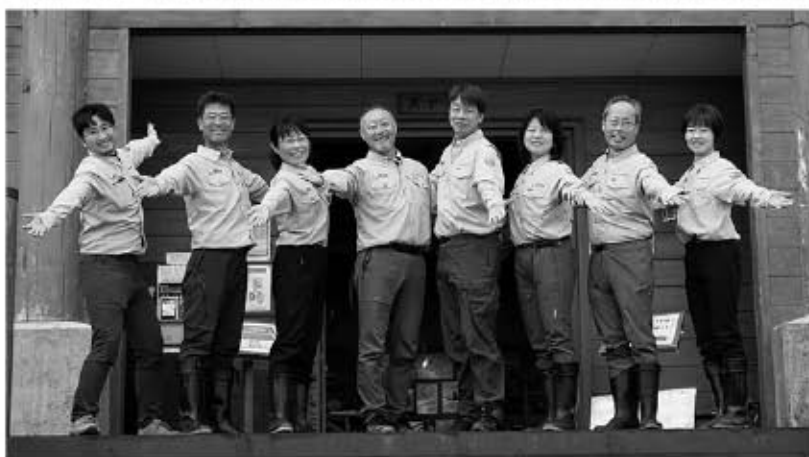
登山が好きでテント泊でシユラフに暮らして眠る前、「自然の中にすくっといられたらなあ」といつも思っていました。そんな私が山の鼻ビジターセンターに勤務する機会をいただきました。入山してまだ2週間余りですが、日々変わりゆく花々と、空と、雲と、風と、光に新鮮な感動と不思議な感情を感じます。この貴重な体験を大切に、楽しみながら、尾瀬の魅力を少しでもお客様に伝

えられるよう、頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

(志賀 絵都子)

尾瀬国立公園山の鼻ビジターセンター1年目の小池です。貴重な動植物が数多く生息するこの地で働くことに誇りと責任を感じております。まだまだわからないことが多いですが、業務を通じて知識や経験を身に付けてゆき、壮大な自然を守り、訪れる方々が尾瀬の美しさを心ゆくまで楽しめるように努めたいと思っております。皆さまのご来訪を心よりお待ちしております。

(小池 遥紀)



おこじよだより



昨年11月に下山した時は、次の尾瀬シーズンまであと半年も思っていました。が、あつという間に半年が過ぎて、今年もピジターセンターに戻ってきました。今は、素晴らしい尾瀬の景色と花々に毎日癒やされています。お客様に来て良かったと思えるような、また尾瀬の素晴らしさを感じてもらえるお手伝いができればと考えております。尾瀬で皆様にお会いできることを楽しみにお待ちしております。



(阪路 善彦)

尾瀬沼ピジターセンター3年目の勤務になります。尾瀬を訪れる方々の、安心と安全を守ることを第一に考え、その上で、より皆さまに楽しんで頂き、尾瀬の自然の素晴らしさや環境保護を知っていただくために、最大限の努力を今年もしていきたいと思っております。皆さまのお越しを、心よりお待ちしております。(馬場 大祐)

今年も雪解けの早い尾瀬となりました。2回目の尾瀬沼ピジターセンター管理員を務めます伊藤です。尾瀬のシーズンは短くあつと言つ間に過ぎゆく6ヶ月間ですが、それだけに毎日次々と移りゆく姿を楽しみに朝起きることが苦でなく

なる(笑)、そんな日々を過ごす機会をまた得られた事に大変幸せを感じます。今年も多くの方に尾瀬にお越しいただき、四季折々の尾瀬の魅力をお伝え出来たらと思っています。「また行こうね」と言っていただけの想い出作りのお手伝いをいたします。是非、尾瀬沼ピジターセンターへお立ち寄りください。(伊藤 信)

こんにちは。尾瀬沼ピジターセンター勤務4年目の玉田英司です。5月7日に群馬県庁尾瀬保護財団でみんなの顔合わせ。そして2日間にわたる研修を終え、これから半年同じ屋根の下で暮らすスタッフ達と清水水から入山。重い荷物にあえぎながら何度も休憩を取り、雪解けの踏み抜きに足を取られては悲鳴を上げ、みんなでワイワイガヤガヤと楽しく上山しました。毎日、最新の情報を用意して皆様のご来館をお待ちしておりますので、ぜひお立ち寄り下さい。(玉田 英司)

今年で尾瀬沼ピジターセンターは3年目となりました。3年いると「ここのお花の様子」は2年前と違う。「毎年ここにイワツバメが巣を作る」と様々見えてくるものが



あります。いつもと同じ尾瀬、いつもとは違う尾瀬、様々な案内できたらと思います。みんなの尾瀬をみんなで守りみんなで楽しむことができれば、今年も精進していきたくと思います。よろしくお願いたします。(八幡 直輝)



(八幡 直輝)

今シーズンも尾瀬沼ピジターセンターの管理員として勤務させていただきました。先人たちが命をかけて守ってきた尾瀬の素晴らしい自然を享受できることに感謝し、これからも綿綿と続いていく尾瀬の歴史にほんの少しでも関わることができることに幸せを感じます。尾瀬を訪れる皆さまに、新しい発見をする喜びと感動を味わっていただき、安全に尾瀬での時間を過ごすことができる環境を整えていきたいと思っております。尾瀬の美しい自然を後世へも残していけるよう、今自分にできることを考えて行動していきたいです。(大内 梨江子)

尾瀬沼での勤務が始まり、尾瀬大好きな先輩達から日々、尾瀬のことを学んでいます。

尾瀬の春は毎日のように違う植物が芽生え、いろいろな鳥達の囀りが聞こえてきます。朝霧の大江湿原、お客様で賑わっている日中、尾瀬沼越しの燧ヶ岳方

面の夕焼け、満点の星空、朝から晩までなんと贅沢な1日でしょう！
もつともつと尾瀬を知って、この尾瀬の素晴らしさを多くのお客様にお伝えしていきたいと思っております。(岡本 早智子)

朝早く起きて尾瀬沼に映る燧ヶ岳を見る。湖面には朝霧がかかり、水鳥の音が聞こえる。大江湿原では毎日新しい植物が芽を出し、三本カラマツは静かにたたくんでいる。

「尾瀬に住んでいる」というこの上ない幸せな毎日を送っています。昨年までの私と同様、年に数回しか訪れることの出来ない尾瀬ファンの方々には気持ち良く過ごしていただけるよう、またこの美しい自然を後世まで維持してゆけるよう、微力ながら精一杯楽しんで務めたいと思っております。(横地 美智子)



尾瀬ボランティア情報

このコーナーでは、尾瀬ボランティアの活動を紹介します。

尾瀬ボランティア活動へご参加ください！

雄大で貴重な大自然を体験できる尾瀬国立公園に今シーズンも多くの方が訪れ賑わいを見せています。

初めての方も気軽に訪れやすい尾瀬だからこそ、尾瀬ボランティアのみなさまの活動がより大切です。啓発活動を中心にお知らせする尾瀬のルールやマナーは、尾瀬の自然保護につながる最も基本的なことといえます。さらには、環境学習ミニガイドツアー、お話ボランティア等で尾瀬の自然や保護の取組をより深くお伝えいただき、訪れる方が尾瀬を理解し、大切に思うことにつながっています。

6月22・23日には、東京都昭島市において「尾瀬フェア@OutdoorVillage」を開催し、尾瀬ボランティアの方から「尾瀬コンシェルジュ」として尾瀬の魅力を多くの来場者の方に発信していただいたほか、「尾瀬カードづくり」や「尾瀬VR」の体験ブース運営にもご協力いただきました。

今シーズンも積極的に活動へご参加をいただきありがとうございます。これからも、ボランティア活動を通じてみんなの尾瀬をみんなで楽しんでいけることを期待しています。



入山口啓発活動の様子（大清水）



尾瀬フェアで活動の様子（東京都昭島市）

植生保護柵設置へのご協力ありがとうございました！



植生保護柵の設置作業（研究見本園）

5月15・16日に、山ノ鼻の研究見本園の植生保護柵設置のボランティアを実施しました。

初日は21℃を超える気温となり、暑い中での作業となりました。今年も雪解けが早く、すでにたくさんのミズバショウの花が咲く中での活動となりました。

企業ボランティアと尾瀬ボランティアのみなさまにご協力いただいたお陰で、2日間ともに作業が予定通りスムーズに進みました。

シーズン中、研究見本園での二ホンジカの食害を防ぎ、多くの植物を楽しむことができると期待しています！ご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました！

「ありがとう尾瀬清掃活動」へのご参加をお待ちしています！

今シーズンの尾瀬を締めくくる「ありがとう尾瀬清掃活動」を実施します。今年度も尾瀬ボランティアのみなさまをはじめ、企業ボランティアや地域の方々も参加いただく予定です。お申し込みは随時受け付けています。

今年もぜひご参加いただき、シーズンを締めくくりたいと思います。お申し込みをお待ちしています。

	尾瀬ヶ原	尾瀬沼
日程	9/28(土)、10/17(木)	8/25(日)、10/8(火)
集合・解散	山の鼻ビジターセンター前	尾瀬沼ビジターセンター前
活動時間	8:30~14:00 ※前後する可能性あり	8:30~12:00 ※前後する可能性あり
活動内容	・尾瀬ヶ原を巡回しながら、 ゴミ拾いを実施 〈コース例〉 山ノ鼻～ヨッピー～牛首～山ノ鼻	・尾瀬沼沿岸を巡回しながら、 ゴミ拾いを実施 ・沼尻のトイレ清掃 〈コース例〉 尾瀬沼～沼尻～三平下～尾瀬沼
必要な装備	軍手、雨具、防寒着、火ばさみ、ゴミ袋(財団配布)	

寄付のお願い

— 美しい尾瀬を未来に引き継ぐために、
皆さまからのご支援をお願いします —

尾瀬保護財団は、尾瀬国立公園をフィールドに「尾瀬での体験と感動を、自然を守る力に変える」をミッションに掲げて関係者と連携しながら、さまざまな活動を展開しています。
当財団の活動は、皆さまからのご寄付によって支えられています。

■ 所得税、法人税、個人県民税、個人市町村民税について

尾瀬保護財団へ寄付をすると優遇措置が受けられます。詳しくは、当財団ホームページをご確認ください。
※所得税・法人税の詳細については最寄りの税務署に、県民税・市町村民税については、お住まいの都道府県・市町村にお問い合わせください。

■ 特別協賛寄付・協賛寄付について

企業・団体の皆様とより良いパートナーシップを築けるよう、特別協賛寄付、協賛寄付の制度を設けています。

■ 寄付の方法

当財団へご寄付いただく場合は、財団事務局へご来訪いただくか、ご連絡の上、下記口座にお振込をお願いいたします。

福島県	東邦銀行県庁支店	普通 1078095
群馬県	群馬銀行県庁支店	普通 0515428
新潟県	第四北越銀行県庁支店	普通 1182791

※振込手数料は寄付者のご負担となります。何卒ご了承ください。
※以下の口座を廃止いたしました。お振込の際には十分ご注意ください。
・大東銀行福島支店口座 ・福島銀行本店営業部口座
・東和銀行本店営業部口座 ・第四北越銀行(旧北越銀行)新潟県庁支店口座
・大光銀行新潟支店口座

■ 注意事項

ご寄付の受領後、領収書等を作成・送付させていただきます。
ご住所及びご芳名が不明な場合、必要書類をお届けすることができません。必ず財団事務局へご一報ください。

■ お問い合わせ先 公益財団法人尾瀬保護財団事務局（寄付担当） TEL：027-220-4431 Mail：info@oze-fnd.or.jp

クレジットカードで、寄付ができるようになりました！

当財団では、令和4年9月から、ご寄付の方法として「クレジットカード決済サービス」を導入しております。

同サービスはコングラント株式会社が提供するシステムを利用するもので、お手持ちのクレジットカードを使い、より簡単にご寄付いただけます。

これからも尾瀬保護財団が活動を続けていくために、皆さまからの温かいご支援をお願いします。ご寄付（決済完了）までのステップは次のとおりです。

①右のQRコード、または <https://congrant.com/project/ozefnd/5503> にアクセス

※尾瀬保護財団ホームページ「尾瀬を支える」タブをクリック→「尾瀬のためにできること」頁の「クレジットカード決済」をクリック、という手順でもアクセスできます。

②都度寄付/継続寄付/クラウドファンディングから希望の寄付頁を選択

※現在「都度寄付」頁のみを公開しておりますが、他の頁についても準備が整い次第、順次公開してまいります。

③各頁上部の「寄付で尾瀬を支援する」をクリック

④お申込画面に必要事項を入力（寄付金額、住所氏名など領収書発行に必要な個人情報、クレジットカード情報）

⑤決済完了

※税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けるためには、確定申告の際に「領収書（寄付金受領証明書）」の提出が必要となります。

※クレジットカード決済サービスをご利用の場合、領収書のお日付はクレジットカード決済日ではなく、寄付金が決済代行会社から尾瀬保護財団へ入金されたお日付となります。尾瀬保護財団への入金はカード決済日の翌月20日前後となります。領収書は入金を確認後に発行・送付いたします。確定申告にて寄付金控除をご希望の方は十分ご注意ください。



特別協賛寄付者のご紹介 ※6月17日現在、五十音順、敬称略

① 糸井商事

糸井ホールディングス

糸井商事株式会社

通算寄付額 9,600,000円

心の産業グループ エコ計画

環境・食・貢献をテーマに！

株式会社エコ計画

通算寄付額 8,000,000円

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU

関東いすゞ自動車株式会社

通算寄付額 1,200,000円

群馬トヨペット

群馬トヨペット株式会社

通算寄付額 2,417,730円

株式会社ジーシーシー

株式会社ジーシーシー

ジーシーシー通算寄付額 900,000円

一生涯のパートナー

第一生命



Dai-ichi Life Group

第一生命保険株式会社群馬支社 通算寄付額 2,732,920円



Asset Management
One

アセットマネジメントOne株式会社
通算寄付額 43,864,119円

投資の力で未来をはぐくむ

尾瀬紀行

尾瀬紀行(信託ファンド)で収受した信託報酬の一部をご寄付いただいております。平成19年より今回が18回目のご寄付となります。

通算寄付額 87,728,237円



群馬銀行

株式会社群馬銀行

私たちは「つなぐ」力で地域の未来をつむぎます

通算寄付額 38,987,075円

(※) 尾瀬紀行(くんでん証券株分)、横断河津村、くんでんSDG=私債債、株主優待制度「寄付コース」、その他財団設立当初の一般寄付を含む。



第四北越銀行

DAISHI HOKUETSU BANK

株式会社第四北越銀行 通算寄付額 7,374,155円



第四北越証券

Daishi Hokuetsu Securities

第四北越証券株式会社

通算寄付額 2,021,059円



すべてを地域のために

東邦銀行

株式会社東邦銀行 通算寄付額 16,453,729円(※)

(※) 尾瀬紀行(とうほう証券株分)を含む。

協賛寄付者のご紹介

※ 5月31日現在、五十音順、敬称略

仲間が広がる、旅が深まる



クラブツーリズム株式会社

通算寄付額 1,750,000円

一般財団法人群馬県警察厚生会

通算寄付額 1,400,000円



群馬県ビルメンテナンス協同組合

通算寄付額 2,300,000円

GN 群馬日産自動車株式会社

群馬日産自動車株式会社 通算寄付額 1,200,000円

KDDI株式会社

通算寄付額 656,700円



佐田建設株式会社

佐田建設株式会社 通算寄付額 600,000円

Smile Park



スマーク伊勢崎

通算寄付額 1,750,000円



利根郡信用金庫

利根郡信用金庫 通算寄付額 4,045,390円

このまちの笑顔をふやそう。



株式会社とりせむ

通算寄付額 2,978,562円



NICHINEN

株式会社ニチネン 通算寄付額 1,700,000円



パティスリークリエーション

ガトーフェスタハラダ

株式会社原田 通算寄付額 300,000円



ひかり接骨院

通算寄付額 793,000円

その他の寄付者のご紹介

※ 令和6年2月16日～令和6年5月31日までの寄付者、五十音順、敬称略

大貫健治、尾崎喜一、カネコ種苗株式会社、小花光雄、新潟楽山会、令和5年度魚沼市立小出小学校5年生一同

皆さまからのご寄付の用途について (尾瀬保護財団の主な活動)

皆さまからのご寄付は、旅行会社や登山者への普及啓発活動、ビジターセンターでの自然解説活動、公衆トイレや木道の維持管理、至仏山の環境保全対策、二ホンジカ対策、ツキノワグマとの共生、外来植物対策など、幅広い事業に役立てられます。



入山口啓発活動



至仏山登山道維持作業



シカ欄(二ホンジカ侵入防止欄)設置作業



自然解説活動(自然観察会)



木道の桝木打ち作業



特定外来植物(オオハシゴシツウ)駆除作業

表紙の風景

好きな花を楽しみに尾瀬散策に出かけますが、咲き始めてあつたり終わっていたり良いタイミングに出会えないものです。

ある年の七月、ヨッピー橋へ向かう林を抜けた先は、一面に咲き競うニッコウキスゲの群落との出会いでした。見渡す限りの鮮やかな黄澄の世界でした。ただ、ただ、木道に立ち尽くすばかり、言葉に表現出来ない涙が溢れんばかりの感激した想いがあります。

今、ニッコウキスゲの安住の地は防鹿ネットに囲まれた限られた空間となっています。寂しい限りですね。

尾瀬ボランティア 白澤 滋民



尾瀬の「はがき絵」を贈呈!

ビジターセンターでは、1,000円以上ご寄付をされた方に返礼品として、『表紙の風景』作者白澤 滋民氏のはがき絵(額装)を贈呈しています。優しいタッチの水彩画で、ご来館される皆さまから大変好評です。ご自宅でも尾瀬の風景で癒やされませんか?



尾瀬Instagram投稿キャンペーン実施中!



応募期間 2024年5月11日～10月31日

応募方法

STEP 1 公式アカウント (@discoveroze) をフォロー

STEP 2 応募期間内に尾瀬国立公園内で写真を撮影

STEP 3 #尾瀬フォト2024 をつけて、撮影日と撮影場所を記載して投稿

詳細はキャンペーンお知らせページへ



@j.rev01013

友の会 コーナー

「友の会」は、豊かな尾瀬の自然を守る財団の活動を支援して下さる方々の集まりです。

※加入・更新時期は、年4回(5月・8月・11月・2月)です

※11月1日からの加入・更新をご希望の方は9月30日までに会費の納入をお願いします

《年会費》

個人	個人会員	1口 2,000円
	家族会員 (家族会員と同居の家族)	1口 1,500円
	ユース会員 (加入又は更新時に満22歳以下)	1口 1,500円
	賛助会員 (企業・団体等)	1口 10,000円
	特別会員 (企業等)	3年に渡る30万円以上の寄付または1回100万円以上の寄付

《特典について》

友の会に加入された方には、以下の特典を提供させていただいております。

- 友の会会員バッジ進呈(初回加入時のみ)、各種資料送付
- 財団機関誌：郵送にてお送りします
- 宿泊割引：尾瀬戸倉、檜枝岐村周辺宿泊割引(休日、祝祭日前等の除外日があります)
- 尾瀬周辺施設利用料割引：入浴料割引

対象の施設等の詳細は財団ホームページでご確認ください。

<https://oze-fnd.or.jp>

編集後記

何年も前から機会を逃していた「真夏の雪まつり」。福島県側の尾瀬の玄関口檜枝岐村の恒例行事で、例年8月1週目の週末に開催されます。村内スキー場に設置された大型シートの下で半年間保管した本物の雪を使うそうです。いつもは東北夏祭りツアーに繰り出すところですが、今年は檜枝岐三昧で楽しみたいと思っています。温泉に美味しい食べ物、尾瀬にも足を伸ばして…特別な夏の思い出ができそうです。(佐々木)



OZE Mobile 情報配信中
スマートフォンサイト
●緊急情報 ●お知らせ ●ライブ配信 など



X 尾瀬情報配信中
尾瀬の情報を随時発信します



尾瀬保護財団note
尾瀬に関するさまざまな記事を投稿します